

卒業生へ贈る言葉

在校生代表
田中 歌

肌を刺すような冷たい外気がいつの間にか和らぎ、吹く風にも春の訪れを感じるようになりました。本日、晴れてこの風早中学校をご卒業される3年生の皆さん、本当にあめでうございます。

希望を胸にこの風早中学校の門をくぐってから早3年、今皆さんはかけがえのない様々な思い出が頭に浮かんでいることでしょう。お別れに際して目を閉じると、私達在校生も先輩方と共に過ごした数々の思い出が蘇ります。

2年前、初めての校舎と新たな同級生を前に不安な気持ちで入学した私達を先輩方は温かく迎えてくれました。そのおかげで不安と戸惑いは楽しさと期待に変わったことを思い出します。

私達が先輩方と過ごすことか1番多かったのは部活動です。入部したての頃は、何をしたら良いのかわからず先輩方のまねをするだけで精一杯でした。時を経て部活動の環境に慣れてくると弱音を吐き、礼儀というものを忘れる日々が続きました。しかし先輩方はどんなにつらい練習の中でも、常に全力を出しメリハリのある行動をしていました。そんな姿はいつでも私達の手本で、その背中を見るたびに初心に返りなさいと言われているような気がしていました。次は私達がその背中を見せる番となり、先輩方のようなかっこいい鑑になれるように頑張ります。

風早杯絆祭では、先輩方がまず一つのチームとなり、先頭に立って私達をまとめ上げて下せました。勝利をつかむために、

まっすぐ前を向き逃げずに突き進む姿に支えられ正々堂々
闘うことができました。喜びや悲しみを分かち合い燃えた
日々は、今でも私達の中にきらきらと輝いています。

風文紀祭では先輩方の透き通った芯のある歌声に圧倒
されました。その歌声は私達には出ることのできない強い団結
を示すものでした。先輩方がこれまで「合唱」で語り継いで
くださった風早中の伝統を私達も後世に受け継いでいま
す。

これから先輩方は、自分の選んだ夢に向かって一人一人違う
道へと進んでいかれます。その道のりでは、時に迷ったり
壁にぶつかったりすることもあるかもしれません。そんな時
は、この学校で過ごした仲間とのかけがえのない日々の
ことを思い出して下さい。皆で頑張ったことや喜び合った
こと、つらかったこと。受験やテストの前に友達と励まし合い
必死に勉強したこと。その全てが皆さんの財産になっていると
思います。そんな先輩方なら自分の進む道に自信を持ち、
どんなにくじけて挫折しそうになっても前を見て、歩み
続けられると信じています。

最後になりますが、今までどんな時でも私達を支え、
楽しませてくださった3年生の皆さん本当にありがとうございました。
私達も先輩方のように風早中の輝かしい歴史
の1ページを作り上げていくよう、日々懸命に取り組んで
いきます。これから先の先輩方のご健康とご活躍を祈念し、
送辞とさせていただきます。